

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成29年12月14日(2017.12.14)

【公表番号】特表2017-514165(P2017-514165A)

【公表日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-560434(P2016-560434)

【国際特許分類】

G 10 K 1/067 (2006.01)

G 10 F 1/08 (2006.01)

A 63 H 5/00 (2006.01)

【F I】

G 10 K 1/067 A

G 10 F 1/08

A 63 H 5/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月6日(2017.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

樂音發生装置であつて、

- ・共鳴空洞を定める管であつて、前記管は、複数の音響発生チャイムを備え、前記チャイムは、少なくとも1つの物体が前記チャイムの少なくとも1つに当たるときに可聴音を生成するように構成されている、管；
- ・多くの物体を保つように構成されたリザーバ；
- ・移送機構であつて、物体を前記リザーバから前記共鳴空洞内の高位置に移送するように構成されている移送機構；
- ・動力源；および
- ・積載補助手段であつて、前記動力源で動力供給され、前記リザーバからの前記移送機構の物体の取り込みを補助するように構成されている、積載補助手段を備え、

物体が、前記移送機構によって移送された後に重力によって前記共鳴空洞内の高位置から落下し、前記複数の音響発生チャイムを打ち、時間にわたってランダム間隔で樂音の連続サイクルを発生させる、樂音發生装置。

【請求項2】

請求項1の樂音發生装置であつて、物体は、プラスチックビーズである、樂音發生装置。

【請求項3】

請求項1または請求項2の樂音發生装置であつて、前記移送機構は、従動ベルトであり、前記従動ベルトは、物体を捕らえて管の最上部に移送する複数のパドルと共に構成されている、樂音發生装置。

【請求項4】

請求項1～3のいずれか1項の樂音發生装置であつて、前記管は、モータによって回転するように構成されている、樂音發生装置。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項の楽音発生装置であって、前記積載補助手段は、前記リザーバに保たれる物体の位置に応じて前記移送機構に対する前記リザーバの位置を動かすように構成され、前記リザーバからの前記移送機構の物体の取り込みを補助する、楽音発生装置。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項の楽音発生装置であって、前記動力源は、電源である、楽音発生装置。

【請求項 7】

請求項 6 の楽音発生装置であって、前記積載補助手段は、前記移送機構に対する前記リザーバの位置を、前記リザーバにある物体の位置を検出するように構成された少なくとも 1 つのセンサと、前記少なくとも 1 つのセンサからの入力を通じて前記リザーバの位置を動かすように構成された少なくとも 1 つのアクチュエータと、によって動かすように構成されている、楽音発生装置。

【請求項 8】

請求項 6 または請求項 7 の楽音発生装置であって、前記積載補助手段は、物体が前記移送機構に引き付けられるように構成されている、楽音発生装置。

【請求項 9】

請求項 6 ~ 8 のいずれか 1 項の楽音発生装置であって、前記積載補助手段は、前記リザーバにある物体を攪拌するように構成されている、楽音発生装置。

【請求項 10】

請求項 6 ~ 9 のいずれか 1 項の楽音発生装置であって、前記積載補助手段は、イオン発生装置を備え、前記イオン発生装置は、1 つ以上の物体および / または前記リザーバに静電気を生じさせるように構成されている、楽音発生装置。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項の楽音発生装置であって、前記楽音発生装置は、マイクロホンも備え、前記マイクロホンは、前記共鳴空洞に位置して、アップロードされて少なくとも 1 つのスピーカーを介して再現される音を変換する、楽音発生装置。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 11 のいずれか 1 項の楽音発生装置であって、前記楽音発生装置は、少なくとも 1 つの L E D も備え、前記 L E D は、前記チャイムの 1 つが物体の 1 つに打たれるとときに、前記共鳴空洞を照らすように構成されている、楽音発生装置。